

〈バスティーユ牢獄襲撃事件〉

バスティーユ長官
ド＝ローネイ侯
1776 - 89

サンタントワース通り

おあつ！
弾がなげりゃ
コイツもただの
鉄の棒切れだあ！

つりゃつっ！
弾丸と火薬は
バスティーユにめぞー！

バスティーユ襲撃!!
7/14

ついでに、
こんなモン跡形もなく
ブチ壊してやるぜ！

7/15

陛下！
一大事でございます！
カクカクシカジカ...

「陛下、革命（Révolution）
にございます！」

あ！こら！
逃げるなよあ...
余も逃げよっかなあ

7/16

「ネズミは沈む船から逃げ出すものだ！
われわれの勝利だ！」

フランス
国民万歳！

フランス
国民万歳！

やったあ！
フランス
国民万歳！

うん！
うん！

やったね！

「バスティーユ」長官
ド＝ローネイのクビ
討ち取ったり...
がはははっ！

ブルボン朝 第5代
ルイ 16 世
1774 - 92

ネッケル復職
バイイのパリ市長就任承認
国民衛兵の設立承認

国王軍総司令官
プロイ元帥
1789

1789年7月

バスティーユ牢獄

バスティーユ襲撃!!
7/14

そのころ
昼寝中の
ルイ16世

よし！
あの鹿を狩るぞ！

あし...
あし...
むにゃ...

「ん？ 暴動（Révolte）か？」

7/15

陛下、革命（Révolution）
にございます！」

7/16

あつらさっせ〜

のちの
シャルル
10 世

それ、革命だ！
すわ！
逃げるや逃げろ！

アルトワ伯（ルイ16世弟）
シャルル＝フィリップ

ルイ16世の日記
7/13 7/14
何もし
（リアン）
Rien Rien

国王軍総司令官
プロイ元帥
1789

きゆう そ 鼠、猫を噛む。
窮

トコトン追い詰められた者は、たとえ「絶対弱者」であっても、強者に
 向かって攻撃性を剥き出しにすることがあります。

このときの市民たちは、まさにそうだったのでしょ。

アンヴァリッド シトワイヤン
 廃兵院を急襲して武器は手に入れたものの、火薬がないことを知るや、市民
 たちは、口々に叫びはじめます。

「バスティーユへ!!!」

「バスティーユへ!!!」

——バスティーユ牢獄(A-3)——

当時は政治犯や精神病患者など(*01)の「牢獄」として機能していましたが、本
 を正せば、れっきとした軍事要塞(*02)。

幅25mの濠を巡らし、高さ30mもの城壁で囲まれた堅牢な要塞です。

これを陥とそうと思うなら、すぐれた将に率いられ、整然とした攻囲作戦に
 基づいて、何日・何週にもわたって砲弾を撃ち込まなければなりません。

しかし、市民側にそれができるほどの準備も、砲弾も、経験もない。

仮にあったとしても、守備側は、ビクともしない城塞の内側から、革命軍
 に砲弾を撃ち込んでやるだけでよい。

たかが市民など、それだけで雲散霧消するに違いありません。

もし、市民たちが踏んばり、膠着状態に陥ったとしても、城内の食糧が尽
 きる前に王室衛兵隊が援軍に駆けつけてくれよう。

たしかに、バスティーユを陥とささえすれば、目的の武器も弾薬も、さらには
 食糧まで手に入るでしょう。

しかし、ふつうに考えて、そもそも陥ちるはずがありません。

(*01) 襲撃時、政治犯はひとりも収監されていませんでした。この事件の直前まで収監されてい
 た精神病患者には、「サディズム」の語源となったことでも有名なサド侯爵がいます。

(*02) そもそも「バスティーユ」というのがフランス語で「要塞」という意味です。
 正式名は「バスティーユ・サンタントワーヌ(サンタントワーヌ要塞)」ですが、これがあ
 まりにも有名過ぎるので、「バスティーユ」が固有名詞化したものです。

そんなこと、パリ市民だって、「百も合点、二百も承知」。
 しかし。

冒頭にも述べましたように、このとき市民たちは、正常な判断ができない興
 奮状態にありました。

「バスティーユへ!!!」

「バスティーユへ!!!」

そう叫びながら、市民たちは後先も考えず、サンタントワーヌ通りをバス
 ティーユまで一直線に行進していったのです。(A/B-2)

その日の昼ごろ、要塞を包囲した市民軍は、バスティーユ長官 B . R .
 J . ド = ローネイ侯(A-2)に「降伏勧告」を送ります。

もちろん、ド = ローネイ侯は拒否。

こんな交渉が何度か繰り返されましたが、ラチがあくはずもなく、ついに決
 裂、交戦状態に入ります。

じつは、「勝てるわけがない!」と思っていた国民議会は、市民の暴走
 に狼狽し、なんとか穏便に事態を収束させようと水面下で努力していましたが、
 すべて水の泡。

